



2015年6月30日
丸善石油化学株式会社

シクロペンタンの生産能力増強について

～アジア地域の電気冷蔵庫需要の増加に対応～

丸善石油化学株式会社（社長：藤井シュン）は、当社千葉工場で生産しているシクロペンタン（商品名「マルカゾールFH」 生産能力1千トン／年）の生産能力を8千トン／年に増強することを決定いたしました。

「マルカゾールFH」は、当社のナフサクラッカーから発生する留分を原料とした製品で、熱伝導率が小さいことから、電気冷蔵庫の断熱材に使われる硬質ポリウレタンの発泡剤として使用されています。

断熱材用発泡剤では、オゾン層破壊防止と地球温暖化防止のため、これまで使用されていた特定フロンや代替フロンからシクロペンタンへの切り替えが進んでいます。アジアの多くの国々では、これからこの切り替えが本格化していく見込みです。

また、アジア地域では省エネ型高機能電気冷蔵庫の需要が堅調であり、電気冷蔵庫の生産台数もこれからも伸びていくことが見込まれることから、当社では、生産能力を増強して、この地域での需要増に対応できる体制を整えることとしました。

「マルカゾールFH」は、現在は当社の水性溶剤製造プラントで生産される商品の一つですが、今回、千葉工場内の遊休設備を改造し、専用設備による生産体制に移行いたします。これにより、スケールメリットを活かした販売が可能となります。

改造工事は、2016年6月に完工し、同年7月から運転を開始する計画です。

当社は、現在実行中の中期経営計画において「未利用留分の有効活用」を掲げており、本製品の増強はその一つとして、収益基盤強化に寄与するものと期待しております。

生産能力	:	8千トン／年
稼働開始時期	:	2016年7月より操業開始予定

以上

◇お問い合わせ先 人事総務部広報グループ 03-3552-9361